

第2回放課後対策事業運営委員会 会議概要（議事録）

●日 時 平成25年8月26日（月） 午前9時30分から午前11時30分

●場 所 我孫子市議会棟1階 A・B会議室

●出席者

委 員 中迫 哲朗(委員長)、金子 博之(副委員長)、北原 靖子、河村 千津子、
荻野 宏江、佐藤 正和、坂手 千代子、浦島 誠、佐野 史尚、小林 道治、
佐藤 里美、大野 敦子、鈴木 幸子、松本 守正

事務局 コーディネーター：古高 すま子、深谷 幸子、森井 貴美子
子ども支援課：萩谷、相良、青木

●事前説明

- * 議事録作成のための録音許可について
- * 傍聴要領の承認について
- * 資料確認

1. 子ども・子育て会議について
2. あびっ子クラブ及び学童保育室の運営について
 - (1) 第一小学校の運営についての報告
 - (2) 根戸小学校の運営についての報告
 - (3) 第三小学校の運営についての報告
 - (4) 湖北台西小学校の運営についての報告
 - (5) 湖北台東小学校の運営についての報告
3. 学童保育室及びあびっ子クラブの運営についての報告
 - (1) 各学童保育室父母会と市担当課との懇談会について
 - (2) 夏休み中のイベントについて
 - (3) 四小学童保育室の新築について
4. あびっ子クラブにおける特別に配慮を必要な児童の受入れについて
5. 平成24年度あびっ子クラブにおけるケガ及びサポーターの体制状況について
6. 川村学園女子大学研究グループによる提案について
7. 6校目あびっ子クラブの決定について
8. その他

次回以降の運営委員会開催の日程について

第3回 11月20日（水） 9：30～11：30 消防本部 大会議室

第4回 2月13日（木） 9：30～11：30 教育委員会大会議室

公開／非公開：公開

傍聴人：無

●会議概要（要約）

【開 会】

- ・ 議事録作成のため、録音させていただきたいがよろしいか。[異論なし]
- ・ 本会議は、原則公開となるので傍聴人に関して、ご承認いただきたいがよろしいでしょうか。[異論なし]
- ・ 異論がありませんので、「傍聴要領」に沿って、傍聴人の手続きを行わせていただきます。本日は、傍聴人の届け出はありませんでした。

1. 「子ども・子育て会議」について

（委員長）それではお手元の次第に沿って進めさせていただきます。

今年度は5校目のあびっ子クラブを、湖北台東小学校に6月に設置しました。現在は、来年度並木小学校にあびっ子クラブを設置する準備をしているところです。また、昨年施行された子ども・子育て支援法を受け、本市でも6月議会で子ども・子育て会議の設置が議決されました。第1回目が8月4日に開催され、子ども総合計画の検証、幼稚園園児の保護者に就労状況等アンケートを実施したところです。今後は0歳から9歳までの教育保育、子育て支援等のニーズ調査を行っていきます。今年度中に報告書をまとめ、平成26年度に事業計画を策定する予定ですのでよろしくお願いいたします。

子ども・子育て会議について、子ども支援課子ども総合計画担当から説明させていただきます。

（事務局）子ども総合計画について説明させていただきます。子ども総合計画があることはご存じかと思いますが、平成16年度から始まっています。こちらの子ども総合計画にも審議会が設置されており、子ども総合計画推進市民委員として、兼任されている方がいます。この計画が平成26年度で終了し、新しい計画が平成27年度からスタートしますが、計画の元になっている次世代育成支援対策推進法が終了します。それに代わる法律として平成24年8月に施行された子ども・子育て支援法に基づき新しい計画が進んでいくという形になっています。6月議会において、今までの「要綱」から上位の法律である「条例」に定められる審議会として、8月4日に船出しました。

子ども・子育て支援法が施行された背景には、平成25年1月現在、全国の保育園待機児童が24,825人おり、このような現状がなかなか解消されないということを受けて、国が本腰を入れ子どもと子育てに関して支援を行おうということで法律がスタートしました。

まず、内容について幼稚園や保育園に通うお子さんたち、家庭で保育されているお子さんたちなど、未就学の子どもの保護者に対する支援がまず一括りがあります。また、就学している保護者の小学生を預かる施設としてある学童保育の基準作りが一括りです。学童保育の基準は全国的に統一され、その後各市が、職員の人数や部屋の広さなどを盛り込んだ計画を策定し、条例を持たなくてはいけなく

なります。細かい内容を決めていく時に勝手に行政の方で決めてしまわないよう、審議会で市民の方の意見を伺って、計画と条例に反映するため、子ども子育て会議という条例に位置付けられた審議会が活動していく形になります。今お話をしたのは子育て支援の分野の話ですが、それ以外の地域との関わりや子どもが育つ環境等の大きな枠組みでの子ども・子育て支援については引き続き子ども総合計画のほうで進めていくようになります。

(委員長) ただいまの説明に対し、質問、ご意見ありますでしょうか。

質疑なし

(委員長) 無いようでしたら次の議題に進みますが、何か不明な点等ありましたら、後日、ご連絡をいただければ子ども支援課で対応しますのでよろしくをお願いします。

2. あびっ子クラブ及び学童保育室の運営について

(委員長) 第一小学校の運営について報告をお願いします。

(委員) 新一年生が加わった、5月より6月、6月より7月といったような感じでどんどん参加人数が増えて、7月の短縮日課のときには90人を超える参加がありました。8月に入って家庭で過ごす時間が増えたのか少しずつ参加が減ってきています。お盆前後は非常に少なくなりましたが、その後また増え出しています。今年プール的一般開放がありましたので、プールが終わってからあびっ子に参加したり、あびっ子に来てお昼を食べてからプールに参加したりという子どもたちがたくさんいました。8月は普段のチャレンジタイムはほとんどお休みして、特別チャレンジタイムとして3つの工作系チャレンジタイムを実施しました。消しゴムハンコづくりと、水ロケットを作って飛ばそうと、海のモビールづくりです。それぞれ熱心に取り組んで良いものが出来たと思います。水ロケットは昨年と比べてたくさん飛び、子どもたちも大喜びでした。8月12日はあびっ子クラブを1日だけ閉室して絨毯の張り替えをしました。また、蛍光灯も吊り下げ式から埋め込み式のLEDに変わり、新しいあびっ子クラブのメインルームになったように感じます。8月28日、29日に中学生の職場体験として我孫子中学校の2年生の女子生徒3名が来てくれることになっています。子どもたちは若い人たちが大好きなので、2日間は中学生にまわりついて遊んで過ごすことになるかと思っています。続きまして学童保育室について報告します。4月からの49名に加えて夏休み生12名、併せて61名が夏休みの間だけ学童で過ごしています。お盆とその前後は少なくなりましたが、毎日50人前後の子どもたちが登室していたので、スタッフをたくさん配置し、とても忙しく過ごしていました。一小はプールが一般開放のため、その内3日間だけ学童として参加という形をとり、4人ぐらいのスタッフが子どもたちを引き連れてプールまで行き、保育室には10名ほど残る子がいました。お盆明けからは、親が許可した子どもだけ外出届を保育室に提出することで1人でプールを利用することができるので、4年生以上の子が何人か利用していました。今年の夏は非常に暑かったのでプールが開放されて良か

ったと思っています。夏休みの学童の活動としては全員で万華鏡を作ったり、お楽しみ会などをして過ごしています。以上で一小の報告を終わりにします。

(委員長) ありがとうございます。続いて根戸小学校の運営について説明をお願いします。

(委員) まず学童保育室についてです。夏休み前に七夕飾りをして、とてもいい雰囲気でした。また、7月18日に地震を想定した避難訓練を行いました。これはどちらかというと子どもたちよりも、スタッフの役割確認をする目的で実施しました。夏休みに第一学童保育室では、鳥の博物館の出前講座が実施されました。第二保育室では、「お金のマイスターになろう」という講座が実施されました。学童全体としては工作週間があり、第一、第二、第三保育室ともに無地のバッグに絵を描いてマイバッグを作りました。プール週間は一小と同じで一般開放でした。今回は安全に配慮しスタッフの配置を多くしました。お盆週間は人数が減ったため第一、第二、第三保育室合同で保育を行いました。子どもたちの交流、スタッフの交流も兼ねて良い影響があったかと思います。今日から30日まで16ミリ映写会を行う予定です。スクリーンは小さいのですが、子どもたちは、暗幕を張り真っ暗な中で、まるで映画館気分のように楽しんでいるようです。それから、子どもたちがケガをした時の通院方法について、少し気になっていることがあります。怪我があった時にはスタッフが病院へ連れて行き受診をします。その後、通院が必要になった場合、以前でしたら通院は保護者がするものだと思っていましたが、最近の保護者の考え方は違ってきているようで、どういったサポートがあるのかを、保護者ともう一度話し合っておく必要があるのかと考えています。次にあびっ子クラブの利用児童数は、平均で6月が50名、7月が64名、8月が35名です。プールの利用もありますがそれほど多くはなく、数名程度です。これから、他のあびっ子クラブと同じように職場体験の中学生を我孫子中学校から受けます。また、チャレンジタイムなどは活発に行っています。囲碁のサポーターさんがデイサービスにも相手をしに行っているため、今度、あびっ子クラブに来てもらえないか検討中です。10月になるとあびっ子クラブが3周年に入りますので、記念イベントを計画しています。11月には地域の文化祭があり、お箏のサポーターさんと、習ってきた子どもたちが参加を予定しています。以上です。

(委員長) 続いて第三小学校の説明をお願いします。

(委員) まず、あびっ子クラブについてです。三小は体育館の耐震工事が予定されているので、プールの一般開放はありませんでした。お盆前は40名程度の利用がありましたが、お盆休みの後は20名程度に減りました。夏休みは普段、学校のあつた時に来ない子どもたちがくるので、チャレンジタイムも初体験という子どもたちがたくさんいました。一番大きなイベントとしては、8月6日に「お金のマイスターになろう」というイベントとNPO法人AYAさんがイギリスから招待したブライアンが行う「ドラマセラピー」というワークショップをコラボさせた企画を実施していただきました。全部で34名の参加であったため半分ずつ交代で

行うという形で行いました。お金のマイスターは、1時間のプログラムであるものを40分に短縮したので、一部説明不足で少し難しかったようですが、お金の歴史とか使い方について、クイズ形式で楽しみながら行いました。AYAさんのワークショップはいくつかのグループに分かれて自分たちの体を表現しながら富士山を作ったり、トンボを作ったりすることや、自分の手形を大きな紙に書いて、好きなものや嫌いなものを書くワークを行いました。講師の方が英語で話すので子どもたちはきよとんとしながらも、身振り手振りで色々と教えてくれるのでとても興味深く参加していました。両方のワークを終えて一緒に反省会を行いました。なかなか体験できないことであったので、子どもたちにとっては良かったと思っています。今週から工作週間が始まります。7月末にスライム作りを行いました。一人1回の参加約束であったにもかかわらず、合計で100名を超える参加者となりました。映写会も3日間ですが行いました。いつもはDVDなどを観ているのですが、ちょっとレトロな感じのフィルムを結構楽しんでいました。夏休み中は参加人数が少ないので、その分、密度の濃いチャレンジが出来ていたようでした。また、1学期に不登校状態になってしまった子が、8月初旬に親と一緒にあびっ子を利用しました。午前中の短い時間ではありましたが2日間きて、丁度同じクラスの子がいたり、同じ幼稚園の子がいたので、一緒に楽しく遊んで帰ることができたため、2学期から学校に来るきっかけになればよいのかなと思います。今年の中学生職場体験は、我孫子中学校から女子4名が来る予定です。また、高校生ボランティアも来る予定です。次に学童保育室についてです。学童も夏休み生が多く、100名を超える児童が保育室にいます。プールが無いこともあり、代わりに校庭で水鉄砲で遊ぶという企画をしています。以上です。

(委員長) ありがとうございます。続いて湖北台西小学校の運営について説明をお願いします。

(委員) まず学童保育室について報告します。現在、夏休み生3名を含め33名です。夏休みの過ごし方として、7月中は工作週間として部屋の一部に段ボールやティッシュの空き箱などいろいろな材料を置き、それを利用して子どもたちが自由に作れるようにしました。プールについては、湖北台西小も一般開放となっていますが、学童保育としては8月に5日間だけ、手厚くスタッフを配置して利用しました。今年是一般の参加者が少なかったため、スタッフも子どもたちを見やすかったです。また、鳥の博物館の出前講座を実施してもらったり、あびっ子クラブと学童の合同工作イベントを行いました。次にあびっ子クラブについてです。あびっ子クラブは、夏休みに入ってから40名から60名くらいの参加がありました。6月から土曜日は、学童との合同保育を始めました。10時から17時まではあびっ子クラブの部屋で全ての子どもたちが過ごし、前後の時間は学童の子どもたちは学童保育室で過ごします。子どもたちには良かったようですが、学童のスタッフは土曜日にやりたかった仕事が出来なくなるので、今後工夫していけたらいいなと思います。今年、チャレンジタイムとして、NPO法人AYAさん

の企画で「劇団ひげ大夫」に来ていただきました。メンバーに、湖北台東小の卒業生がいて、ぜひ自分の母校の子どもたちにも見せてあげたいとの要望があったため、学校と相談して湖北台東小の子どもたちや地域の方も観に来てもらえるように工夫しました。中学生の職場体験も8月28日、29日に男女9名の我孫子中学生が、学童とあびっ子の両方を体験してもらうよう計画しています。以上です。

(委員長) ありがとうございます。続いて、湖北台東小学校の運営について説明をお願いします。

(委員) 6月にあびっ子クラブがオープンして、6月には延べ1,095人、7月には763人の利用がありました。8月はお盆休みがあったのでこれより少なくなっていると思います。3年生の利用が多いことが東小の特徴的なところだと考えています。7月、8月は体育館でよく遊んでいましたが、体育館の耐震工事が始まったので、今は外遊びをしています。三小と同じで、普段の顔触れと夏休みの顔触れは全く違うなという感じです。チャレンジタイムとしては、夏休み中はお試しであびっ子の碁として、囲碁連盟の方に実施していただいています。9月からは本格的にスタートします。お話し会も月に1回来ていただいています。8月12日に学童と合同で参加費を集めて工作教室を行いました。お盆前にも関わらず多数の参加がありました。以上です。

(委員長) ありがとうございます。以上5校のあびっ子クラブ及び学童保育室の運営について報告がありましたが、ご意見、質問等ありますか。

(委員) お箏をやっている学校では、お箏を何面ぐらい用意されているのでしょうか。

(委員) 根戸小は、4面あります。

(委員) お箏はその都度持ち帰られているのですか。

(委員) いいえ。あびっ子クラブに置いたままです。

(委員) 爪はどうしていますか。

(委員) 爪はあびっ子クラブで用意しています。

(委員長) 他の学校ではどうですか。

(委員) 一小も根戸小と同じ先生が行っています。根戸小ほどは多くありませんが3面で行っています。

(委員) 三小は2面です。

(委員長) ありがとうございます。他に何かありますか。

(委員) ショートテニスのサポーターとして活動を始めて3年になりますが、学校とのコミュニケーションがなかなかうまくとれないので、校長先生にご意見をお伺いしたいです。チャレンジタイムは1ヶ月前から予定を組んで児童にも周知をしていますが学校の部活等、例えば陸上部が校庭で雨が降ってきたので急遽体育館を使いたいといったように、学校の行事とチャレンジタイムがバッティングした場合にどちらが優先されるのか、校長先生はどのように考えますか。

(委員) チャレンジタイムの予定どおりでいいのでは。どうしても大会が近くてという

ような場合は、一部だけでも陸上で使わせてもらえないかと相談させていただきますが、予定されているのが優先だと思います。

(委員)十分に学校の校長とお話をいただいて主張していただき、十分理解できることだと思います。

(委員長)たしかにあびっ子クラブは借りているという形と考えるので、学校と調整をとっていただければと思います。他にありますか。

(委員)子ども・子育て会議とあびっ子クラブの関係性についてお聞きしたい。

(委員長)今後、子ども・子育て計画を作成するにあたり、幼稚園を卒園した後、学校へ入学した時に学童を利用するかどうか等の内容もアンケートには含まれていません。

(委員)あびっ子クラブの在り方とかもですか。

(委員長)あびっ子クラブは市独自の事業ですが、子ども施策の1つとして、盛りこまれています。

(事務局)国の方針として、これまで学童保育というのは事業としてだけ位置づけをされていましたが、明確な基準が打ち出されます。今年度、国の専門委員会で話し合いが行われており、来年の4月以降、市は、その基準に基づいて独自の学童保育の基準を作っていくこととなります。基準の内容については、子ども・子育て会議でも議論されますが、我孫子市における学童保育事業はあびっ子クラブと連動しているため、この運営委員会においても随時報告させていただき皆さんの意見を反映していきたいと考えています。議論されている主な内容は、スタッフの資格要件、スタッフの配置人数、部屋の広さ、受け入れを小学校6年生まで拡大するうえでどのような整備を行っていくかなどです。

(委員長)質問等ありますか。

質疑なし

(委員長)なければ次の議題に移ります。

(事務局)我孫子市介護保険ボランティア制度について説明します。65歳以上の方を対象に我孫子市介護保険ボランティア制度が立ち上がっています。介護施設等で65歳以上の方がボランティアをすると、ポイントがもらえ、年間50個で5,000千円分の介護保険料に換金できる制度です。これまでは介護施設等だけを対象としてきましたが、子どもたちがいる施設でもボランティア活動をしていただきたいということで、9月から保育園と子どもの支援施設、あびっ子クラブの3か所で拡大することになりました。介護ボランティア制度は、無理をしない範囲で、少しでも外に出ることを目的としているため、1日2時間以内という制限があります。あくまでも、ボランティアの方には自分が来られる時に来ていただいて、無理をしない範囲で相手をしてもらうというスタンスになりますので、あびっ子クラブのサポーターとして事前に企画をしてチャレンジタイムを実施していただくようなことはありません。その他として、本委員会の委員である根戸小あびっ子クラブのサポーターさんのことが掲載されている地域情報誌をみつ

けましたので、皆さんにも配布させていただきました。あびっ子クラブで行っている、消しゴムハンコについてなど記事が掲載されていますが、どのような経緯で今回掲載されたのか等お話を聞かせていただければと思います。

(委員) 以前にもあびっ子クラブのことで、イースト情報誌さんから取材を受けていました。私自身、名前がでたり、顔写真がでるのはちょっと恥ずかしいのですが、あびっ子クラブや、根戸エンジョイクラブのことが、多少でも宣伝になればと思いい取材を受けたのですが、こんなに反響があるとは思っていませんでした。

(委員長) ありがとうございました。

3. 学童保育室及びあびっ子クラブの運営についての報告

(事務局) 各学童保育室の父母会と市の担当者との懇談会を例年行っており、市への要望内容及び現況等を報告させていただきます。ここ数年来学童保育保護者からの方から、一日保育の開室時間を現在の7時45分から7時30分にして欲しいという要望が出ており、今年も要望としてあげられました。この7時30分開設については、スタッフとも懇談をしながら検討を進めていますが、全くダメではなく、打開策がないのか話し合いを進めています。10月には市長と保護者が語る会が実施されるので、そこまでに少しでも方向性が見えてくるよう調整しています。また、各施設における修繕や、震災、防犯に関する要望が非常に多く出ています。今年度は蛍光灯カバーの取付けの予算がついたので、カバー付埋め込み式でLEDの物を主流に整備しています。また、新木小学童保育室の床をコルクマットに張替をする工事を9月に行うにあたり、入札作業を始めています。こちらも、子どもの安全面から保護者より要望があったものです。施設全般的なこととしては、昨年度から引き続き要望のあった定期的なエアコン清掃については、学童保育室を市の施設の包括管理の中に追加してもらうことにより、現在は受託業者が月1回巡回点検し、簡易な修繕はその場で直してくれるとともに、エアコンの定期清掃も実施しています。以上です。

(委員長) 続いて、夏休み中のイベントについて報告願います。

(事務局) 8月5日から7日にかけて、イギリス人講師ブライアンによるドラマセラピーを3つの保育室で行いました。また、7月23日から8月2日の内4日間、10ヶ所の保育室で、鳥の博物館出前講座としてダチョウの骨格標本を使いながらいろいろなイベントを行いました。8月5日から9日にかけては企業のボランティア活動として、「お金のマイスター」を5ヶ所の保育室で行いました。8月2日には、劇団「ひげ大夫」による公演を湖北台西小学校の体育館をお借りして行いました。こちらは先ほどのコーディネーターからの報告にあったとおり、湖北台東小学校の児童も一緒に参加しました。夏休み中のイベントについては以上です。引き続き、四小学童保育室の新築工事について報告します。現在、入札の手続き中で9月の中旬に業者が決定する予定です。決定次第工事に入ります。

(委員長) ただいま説明のありました事務局からの報告について、なにかご意見等ありま

すでしょうか。

質疑なし

(委員長) ないようでしたら次の議題に移らせていただきます。

4. あびっ子クラブにおける特別に配慮が必要な児童の受け入れについて

(事務局) 昨年度から議題として挙げさせていただいています特別な配慮が必要な児童の受け入れについて、昨年度、夏休みの1日を利用して、スタッフ体制を整えて受入れ可能日を設定しましたが、どのあびっ子クラブにも申し込みがありませんでした。その結果を受けて、今年度は普通の運営の中で無理なく受入れできる体制を整えるととともに、放課後対策事業専任の心理相談員があびっ子クラブも巡回相談を実施し、受入れが出来るよう調整しました。その結果、どの保育室でも配慮が必要な児童の参加がある状況となっています。また、1学期不登校であった児童が、2学期から学校に行くステップとして、あびっ子クラブに行くことにより学校敷地内に踏み入れられるようにしたいという保護者もいました。以前、高学年で、学校に来られなかった子どもたちが、あびっ子クラブを利用することによって少しずつではあるが友達との関係が出来たということもあります。特別な日をつくるよりは、無理なく今のあびっ子クラブの現状の中で子どもたちを受入れていくほうが良い結果となっているような状況がうかがえています。

(委員長) ただいまの説明について、川村学園の委員からご意見等ありますか。

(委員) 特別な日を作るよりは、普段の中で受入れていくのがよろしいのではないのでしょうか。

(委員長) 他にご意見ありますか。

質疑なし

(委員長) なければ次の議題に移らせていただきます。

5. 平成24年度あびっ子クラブにおけるケガ及びサポーターの体制状況について

(事務局) 第1回の運営委員会の際に川村学園の委員から宿題を頂いた件についてまとめましたので報告します。まず、平成24年度のケガ及び事故の件数の集計結果です。市に運営報告が毎月あがってきますが、その中で大きなケガと保険を請求したケガをピックアップしました。掲載していない小さなケガについては、コーディネーターから説明させていただきます。一小のコーディネーターから順番にお願いします。

(一小コーディネーター) 小さなケガは、保護者に出した「ケガのお知らせ」の件数になります。

(根戸小コーディネーター) 根戸小の場合も「ケガのお知らせ」を出した件数になりますが、スタッフによってどこまで出してよいのか曖昧であったので話し合いをしていますが、あびっ子クラブの場合は、お迎えにくる子はあまりいないので、できるだけ出したほうがよいのではと考えています。

- (三小コーディネーター) 三小の場合も「ケガのお知らせ」を出した件数になります。
- (湖北台西小コーディネーター) 西小も「ケガのお知らせ」を出した件数になります。
- (事務局) こちらの資料は平成24年度の集計になっていますが、今年度6月にオープンした湖北台東小あびっ子クラブの状況はどうですか。
- (湖北台東小コーディネーター) 東小の場合も小さなケガは「ケガのお知らせ」を出しています。オープンしてから渡したのは1件だけです。東小は3階にあびっ子があるので、外遊びをしている時のケガのために倉庫に薬箱を用意しました。
- (事務局) もう一つ宿題を頂いていたサポーターの参加状況についてです。一小から順番にまとめてありますが、空欄のところはサポーターがいたけれどチャレンジタイムがなかった日です。内容に記載があるところがチャレンジタイムがあった日です。人数が少ない日があるのではということでこの資料の提示を求められましたが、人数が欲しいチャレンジタイムと、そうではないチャレンジタイムがあります。運動系のチャレンジタイムは少し人数がいたほうが良いと見受けられました。こちらの資料も24年度のデータを基に出していますので、東小の状況はどうですか。
- (湖北台東小コーディネーター) 定期的に来られる方が2～3人程です。囲碁のチャレンジの時に1回につき2～3人で面倒を見てくれています。お話の方も2～3人で始まりつつあります。始まったばかりなので、曜日が集中してしまったりすることがありますが、徐々に分散していくのではと思います。
- (事務局) 西小の活動状況ですが、昨年度スタートしたばかりだったので、前半はチャレンジタイムがない中で、非常にサポーターの方たちが参加をしてくれていたというのがわかりました。コーディネーターから状況報告をお願いします。
- (湖北台西小コーディネーター) 最初は今の東小と同じように曜日が決まらないで、来られる時に来てくださいとお願ひしていましたが、サポーター同士がお互いに調整してくれるようになりました。
- (事務局) それぞれあびっ子クラブでチャレンジの状況等含めてだいぶ違いますが、サポーターさん達の交流も今後必要ではと考えています。
- (委員長) ただいまの報告について、質問、ご意見等何かございますか。
- 質疑なし
- (委員長) それでは、川村学園女子大学研究グループによる提案について委員から説明願ひいます。

6. 平成24年度あびっ子クラブにおけるけが及びサポーターの体制状況について

- (委員) 研究の一環として、放課後の子どもの過ごし方がどのように変わっていくのか検証する研究を進めています。2010年から2012年に、放課後に子どもたちがどのように過ごして欲しいのかと、保護者や周囲の人たちが望んでいるかをアンケート調査し、それを基にものさしを作るという作業を進めています。多くの大人たちは、友達と一緒に元気一杯に過ごして欲しいし、体を動かして外遊び

をして欲しいと思っています。一方、安全・安心という点から大人の見守りがある場所にいてほしいという考えもあります。今後、効率的に集約できるような形で作っていければ、点検評価の中でアンケートなどでもしたいと思っています。今ある情報をいい形で点検評価に役立てるための検討が必要になるのではないのかなと思いました。点検評価のための情報整理について、3つぐらいの案を出してみましたので、これを基に意見をいただいて委員会の中で点検評価項目を作ればよいと思います。1つ目としては、目標を整理して不足だった点検項目を追加していくというのがあると思います。2つ目としては、目標に即してチェックリストのような形で一覧表を作成することはできるかもしれません。3つ目としては、WHOが国際的に提案しているある指標を使って数値計算できるタイプを紹介しました。こういう形のどれかを使って、それぞれに話し合っ点検評価の目標にしてわかりやすくしていったらよいのではないかと思います。

(委員長) ただいまの委員からの提案についてご意見質疑等ございますか。

(事務局) 今日の提案に関して、一度持ち帰りいただき、その間に川村学園とコーディネーターとで話し合いをさせていただき、意見調整を行った上で次回の運営委員会に提示したいと考えています。

(委員長) 他にありますか。意見がありましたら事務局の方へ連絡してください。調整をとった上で次回提案できればと思います。

7. 6校目あびっ子クラブの決定について

(委員長) 5月に市長と協議して、並木小学校に設置することに決定しました。整備費については、9月に補正予算で対応し、平成26年6月にオープンする予定です。このことについて質問等ありますか。

質疑なし

(委員長) では、その他で次回以降の運営委員会の日程について事務局から説明願います。

8. その他

(事務局) 第3回11月20日(水)9:30~11:30消防本部大会議室、第4回2月13日(木)9:30~11:30教育委員会大会議室になります。

(委員長) その他で、皆様の方から何か意見等ありますか。

質疑なし

(委員長) なければこれで終了とします。ありがとうございました。

【閉 会】